

会計名			公共施設連絡バス運行管理事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	都市交通課		
款	項	目					担当係	運輸係		
8	4	1								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	公共交通の充実							
	目的	市内公共施設等を結ぶ連絡バスを運行することで、公共施設利用の利便性の向上を図るとともに、広く一般市民、特に交通弱者と言われる高齢者等の積極的な社会参加と、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、通勤通学の利用を促進する。	主たる内容	○運行路線 6路線（始発～終着） 東境線（刈谷ハイウェイバス～ひまわり） 西境線（洲原温水プール～ひまわり） 小垣江線（小垣江駅東口～逢妻駅南口） 東刈谷線（半城土町大原～生きがいセンター） 一ツ木線（総合運動公園～市役所） 依佐美線（東刈谷駅北口～小垣江駅西口） ○運行回数 1日8往復（東境、西境、小垣江、東刈谷） 1日5往復（一ツ木、依佐美） ○利用料金 無料						
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略、環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン							
		根拠法令	刈谷市公共施設連絡バス運行事業実施要綱							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成9年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		総利用者数	675,988人	総利用者数	694,319人	総利用者数	700,656人	総利用者数	707,000人	
運行路線別内訳			運行路線別内訳		運行路線別内訳					
東境線		136,616人	東境線	140,650人	東境線	135,602人				
西境線		144,995人	西境線	149,150人	西境線	151,402人				
小垣江線		168,607人	小垣江線	170,129人	小垣江線	170,728人				
東刈谷線		117,595人	東刈谷線	118,871人	東刈谷線	124,650人				
一ツ木線		53,596人	一ツ木線	58,858人	一ツ木線	62,819人				
依佐美線		54,579人	依佐美線	56,661人	依佐美線	55,455人				
成果		・路線の充実や増便により順調に利用者数をのばしてきた。 ・バス車両への有料広告掲載を希望する広告主を募集し、平成28年度は1,353万円の広告収入を得られた。								
課題	バス増便やバス停まで遠い地区への乗り入れの要望等に対し検討する必要がある。 また、愛称の公募などを検討する必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標	利用者数（人）				675,988	694,319	700,656	707,000	721,000	
指標										
他市との比較検証	近隣市では、規模の大小や有料・無料の違いはあるが、各団体がコミュニティバスを運行している。 安城市 あんくるバス《11路線 利用料100円》、碧南市 くるくるバス《2路線 利用料無料》、知立市 ミニバス《5路線 利用料100円》、高浜市 いきいき号《5路線 利用料100円》									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳			
	事業費 ①		208,073	219,763	233,693	257,665	合計	233,693,499 円		
	財源	特定財源	650	1,074	1,798	980	需用費	894,326 円		
		一般財源	207,423	218,689	231,895	256,685	委託料	232,308,870 円		
	職員人件費 ②		6,688	8,226	7,034	7,587	使用料及び賃借料	490,303 円		
	総事業費（①+②）		214,761	227,989	240,727	265,252				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		・広告料収入 ・バス待機場市町負担金 ・バスロケーションシステム 市町負担金						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			公共施設連絡バス運行管理事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	高齢者等の移動手段を確保し積極的な社会参加、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、市民の移動環境の向上のためには不可欠と考えている。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	利用者は年間70万人を超え、近隣市に比べても多くの方に利用していただいているという点では効果が大きいと考えられるが、経費面や運行形態等、今後改善できる余地は多いと考えられる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	市民の公共施設の利便性を図るとともに、高齢者等の積極的な社会参加を促進するため、市内全域を無料で運行していることから市民生活にとって欠くことのできない移動手段として、市が主体となって実施する事業としている。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	普通	市民サービスへの効果は十分あると考えられるが、施策への貢献や目標の達成に向け、今後、運行形態等の改善を検討していく。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	都市計画マスタープランでは、歩いて暮らせる都市づくりに向け、鉄道やバスなどの公共交通が主体となったネットワークの形成を目指すとしている。 また、利用者からは所要時間の短縮、増便やバス停まで遠い地区への乗り入れなどの要望もある。 鉄道・自転車との連携など公共交通ネットワーク構築に向けた検討を行い、公共交通（バス交通）の利便性向上を図る必要がある。				

会計名 一般会計			地方バス路線維持費補助事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	都市交通課	
8	4	1					担当係	運輸係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	乗合バス路線を維持存続することにより、愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺への移動の利便性を向上させる。	主たる内容	名鉄バスが運行する刈谷・愛教大線を維持するため、経常費用と経常収益の差額を補助する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	刈谷市補助金等交付規則						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成19年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		利用者数	50,581人	利用者数	51,240人	利用者数	47,789人	利用者数	48,300人
成果		刈谷・愛教大線と公共施設連絡バスとの連携等についてバス事業者と検討した。							
課題		今後は、利用者増に向け、引き続き公共施設連絡バスとの連携等を検討する必要がある。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	成果指標	利用者数（人）			50,581	51,240	47,789	48,300	49,300
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		16,766	16,397	16,378	17,000	合計 16,378,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 16,378,000円		
		一般財源	16,766	16,397	16,378	17,000			
	職員人件費②		528	588	586	759			
	総事業費（①+②）		17,294	16,985	16,964	17,759			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			地方バス路線維持費補助事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	乗合バス路線を持続存続することにより、愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺へ移動の利便性を向上するためには必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	利用者の増加及び経費節減を図るため、事業者と協議を継続する必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺への利便性の向上を図るため、乗合バス路線の維持存続が必要であることから、市が主体となって、バス事業の誘導や支援などを行うものとしている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	利用者の利便性が向上し、市民サービスへの効果は十分あると考えられる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も乗合バス路線を持続存続することにより、愛知教育大学学生の通学手段を確保するとともに、北部地域と刈谷駅周辺へ移動の利便性の充実について検討していく。					

会計名			JR逢妻駅駅舎改修事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	運輸係	
8	4	1							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、1日平均利用者数が3,000人以上の駅は、平成32年までにバリアフリー化することが義務付けられた。そのため、JR逢妻駅にエレベータを設置し、利用者の利便性や安全性の向上を図る。	主たる内容	○南北の駅前広場から連絡通路につなぐエレベータを2基設置 ○改札内から上下線ホームにつなぐエレベータを2基設置 ○改札内に多目的トイレを新設					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、刈谷市補助金等交付規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成25年度～平成29年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・下りホーム側の改札内エレベーター及び多目的トイレ設置に備えた擁壁改良工事及び公衆便所支障移転工事 ・改札外のエレベータ2基設置に係る基本設計及び実施設計		・改札内エレベータ2基及び多目的トイレ設置工事に対する補助金交付 ・南口改札外エレベータ設置工事に備えた駅前広場雨水管移設工事		・南北の駅前広場から連絡通路につなぐエレベータ2基設置 ・南口及び北口駅前広場改良工事		・自由通路改修工事	
成果		・南北の駅前広場から連絡通路につなぐエレベータを2基設置することにより、安全性が向上した。 ・南口及び北口駅前広場の改良工事を行った。							
課題		工事期間中の駅利用に支障が生じないよう、JR東海と協議しながら適切にバリアフリー化工事を実施する必要がある。							
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	エレベーター設置数（基）			0	2	2	0	—
	成果指標	1日当たり平均利用者数（人）			4,224	4,373	4,520	4,600	4,850
他市との比較検証	介助者なしでホームまで移動できる駅数（ ）は全駅数 刈谷市9（9） 碧南市4（4） 安城市8（9） 知立市4（4） 高浜市3（3）								
C事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		40,725	56,884	144,410	42,552	合計	144,409,720円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役員費	23,000円	
		一般財源	40,725	56,884	144,410	42,552	委託料	3,996,000円	
	職員人件費②		2,393	3,251	4,806	3,832	工事請負費	139,590,720円	
	総事業費（①+②）		43,118	60,135	149,216	46,384	負担金、補助及び交付金	800,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			JR逢妻駅駅舎改修事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	現在、逢妻駅では、車いす利用者が駅を利用することが非常に困難である。エレベーター等を整備することによりバリアフリー化が完了し、利用者の利便性や安全性を向上させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	移動等円滑化の促進に関する基本方針に基づき、効率的に事業が推進されている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	鉄道駅の利便性の向上、バリアフリー化や安全対策を推進するため、市が主体的に実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	逢妻駅のバリアフリー化により、市内全鉄道駅にてバリアフリー化が完了となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
バリアフリー化が必要な駅の整備が全て終了した。					

会計名 一般会計		公共施設連絡バスロケーションシステム導入事業				担当部	都市政策部		
款 項 目 8 4 1						担当課	都市交通課		
						担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	バスロケーションシステムを導入することで、情報発信を迅速に行い、利用者の利便性の向上を図る。			主たる内容	○バスロケーションシステム導入 ○モニター設置			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		—		—		・バスロケーションシステム導入 ・モニター設置 3箇所 刈谷駅南口バス停 刈谷駅北口バス停 刈谷豊田総合病院バス停		・モニター設置 3箇所 ひまわりバス停 刈谷ハイウェイオアシスバス停 市役所バス停 ※公共施設連絡バス停留所整備事業で実施	
成果		バスロケーションシステムを導入することにより、公共施設連絡バスの運行情報をリアルタイムに発信及びバス利用者が取得することができるため、バス利用者の利便性が向上した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
成果指標		システムアクセス数（件）				—	22,361	1,800,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	6,416	0	合計	6,415,694 円	
	財源	特定財源	0	0	2,962	0	委託料	6,401,577 円	
		一般財源	0	0	3,454	0	使用料及び賃借料	14,117 円	
	職員人件費 ②		0	0	2,032	0			
	総事業費（①+②）		0	0	8,448	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		・地方創生推進交付金					
30年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			公共施設連絡バスロケーションシステム導 入事業		担当部	都市政策部
款	項	目			担当課	都市交通課
8	4	1			担当係	
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	バスの位置情報や遅延時間等について、リアルタイムで運行情報を利用者が取得できることで、バスの利便性向上が期待できる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	台風や雪等によるバス運行情報を利用者に対して、情報発信が出来るので、バスの問い合わせ等が減少する。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		低い	「刈谷市公共施設連絡バスの利便性を高める」という総合計画内容と整合性が図られる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	公共施設連絡バスにおける市民サービスに対して大きな効果が期待できる。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			



会計名		都市交通施設整備基金積立事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	運輸係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	道路、橋りょうその他の交通に係る施設（都市交通施設）を計画的かつ効率的に整備するための財源を確保する。		主たる内容	都市交通施設を整備するための基金を積み立てる。 基金対象施設 ○道路関連 ○公共交通関連				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	刈谷市都市交通施設整備基金条例第3条					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
						・2,000,000千円を基金に積み立てた。		・運用収入を基金に積み立てる。	
成果		・都市交通施設整備基金に積み立てた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	2,000,000	0	合計 2,000,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	積立金 2,000,000,000 円		
		一般財源	0	0	2,000,000	0			
	職員人件費 ②		0	0	156	228			
	総事業費（①+②）		0	0	2,000,156	228			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			<b>都市交通施設整備基金積立事業</b>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	運輸係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	道路、橋りょうその他の交通に係る施設（都市交通施設）を計画的かつ効率的の整備するための財源確保が必要となる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	道路、橋りょうその他の交通に係る施設を切れ目なく計画的かつ効果的に整備していくため、福祉や教育、子育て支援等の事業費を圧迫しないために、基金を設置することで財政の平準化が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	道路、橋りょうその他の交通に係る施設を整備することにより、交通渋滞の緩和や市民生活における利便性が向上する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	平成24年6月に策定した都市交通戦略を推進し、基本的理念である「ひと」と「環境」にやさしく、持続可能な都市交通体系の構築を目指すことができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名			都市交通計画調査推進事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	都市交通課		
款	項	目					担当係	計画係		
8	4	1								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	総合交通対策の推進							
	目的	平成24年6月に策定した都市交通戦略を推進し、基本理念である「ひとと環境にやさしく、持続可能な都市交通体系」の構築を目指す。			主たる内容	都市交通戦略に掲げる施策を実施する。 ○幹線道路計画調査 ○交通課題の把握 ○公共施設連絡バスの運行状況調査 ○移動手段適正化に向けた調査・検討				
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン 根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成24年度～平成42年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷市都市交通協議会開催</li> <li>幹線道路にかかる調査・検討</li> <li>公共交通（バス交通）に関する検討</li> <li>刈谷駅北口交通まちづくり社会実験</li> <li>ITSを活用した社会実験</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷市都市交通協議会開催</li> <li>幹線道路にかかる調査・検討</li> <li>公共交通（バス交通）に関する検討</li> <li>大規模交通量調査</li> <li>バスロケーションシステム導入検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路にかかる調査・検討</li> <li>渋滞箇所の対策検討</li> <li>刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に向けた調査・検討</li> <li>ITSを活用した交差点安全対策の調査研究</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>刈谷市都市交通協議会開催</li> <li>幹線道路にかかる調査・検討</li> <li>渋滞箇所の対策検討</li> <li>刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に向けた調査・検討</li> <li>交差点安全対策の調査研究</li> </ul>		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車交通の円滑化に向け、新規幹線道路に関する調査検討を実施した。</li> <li>刈谷駅及び刈谷駅北口周辺の安全性・利便性確保に関する調査検討を実施した。</li> <li>交差点安全対策についての社会実験を実施した。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交通対策を進めるために、市内企業と連携を図り、自動車移動の円滑化などの施策を検討すること。</li> </ul>								
C コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
	成果指標	自動車以外の交通分担率（%）	24.4	—	26.5	27.1	28.3			
	成果指標	車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（%）	65.4	—	67.4	67.4	67.4			
他市との比較検証	・交通戦略は愛知県内8市町で策定されている。 （近隣市の自動車以外の交通分担率実績（第5次パーソントリップ調査（H23）） 刈谷市 35.1% 安城市 30.2% 豊田市 27.0% 小牧市 29.0% 岡崎市 32.0%）									
建設事業	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
	事業費①	59,806	91,259	149,475	75,308	合計	149,475,320円			
	財源	特定財源	602	0	41,440	0	旅費	668,650円		
		一般財源	59,204	91,259	108,035	75,308	需用費	408,780円		
	職員人件費②	13,023	16,452	17,584	19,727	委託料	148,333,090円			
	総事業費（①+②）	72,829	107,711	167,059	95,035	使用料及び賃借料	10,800円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		28年度特定財源名称			負担金、補助及び交付金	54,000円		
	28年度までの累積事業費	0		繰越金						
	30年度以降の事業費見込	0								

会計名			<b>都市交通計画調査推進事業</b>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	計画係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域活力の向上、防災・減災対策の推進、交通弱者が安心かつ安全に移動できる移動環境の確保など、交通を取り巻く環境は近年大きく変化している。 市民の安全で快適な移動環境を確保するために、総合交通体系の確立は必要不可欠であると考えられる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	刈谷市都市交通戦略の効率的な推進にあたっては、市民、企業等と協働で事業を推進する必要があり、現在、一部事業においては協働で実施しており、効率性は図られていると考えている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	総合交通対策の推進主体として、市民、企業、交通事業者、官公庁など多岐にわたっている。 総合計画でも重点施策のひとつと位置づけられており、市がコーディネーターとして積極的に調整推進役を担う必要があると考えている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	様々な手段で移動できる交通環境が構築されることにより、市民サービスへの貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交通対策の推進のため「刈谷市都市交通戦略」を平成24年6月に策定した。</li> <li>計画の周知をはじめ、積極的な事業の展開を図り、総合交通対策の確立に向け努力する必要があると考えている。</li> </ul>					

会計名			公共施設サイン整備事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係		
8	4	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	まちなみ・景観の充実						
	目的	市民及び来訪者に対して、主要な公共施設等の位置を適切に案内し、安全かつ円滑に移動できるようにする。			主たる内容	市内の主要施設の案内板（サイン）を整備する。			
	位置づけ	関連計画	公共施設サイン計画			根拠法令			
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成1年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		—		・夢と学びの科学体験館の案内板の設置（2箇所）		・野田新町駅の案内板の設置（2箇所）		—	
		成果	野田新町駅北口に案内看板を設置することにより、市民及び来訪者の利便性が向上した。						
課題		公共施設の新設等による案内の必要性に応じ公共施設サインを設置していく。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標	充足率（%）			—	100	100	—	—	
成果指標	車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（%）			65.4	—	65.6	65.7	65.9	
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	1,858	3,581	0	合計	3,581,280円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	3,581,280円	
		一般財源	0	1,858	3,581	0			
	職員人件費②		0	666	1,483	0			
	総事業費（①+②）		0	2,524	5,064	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設連絡バス停留所整備事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	計画係	
8	4	1						運輸係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	公共施設連絡バス停の待合環境を整備することで、市民の移動利便性を高める。		主たる内容	○バス停に上屋、ベンチの設置 ○バス停の時刻表を照らす照明器具の設置 ○バスロケーションシステムモニター設置 ○バス停改良工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・野田新町駅北口バス停ベンチ設置 ・御幸町6丁目バス停（2箇所）上屋等設置		・刈谷駅北口バス停ベンチ設置 ・総合健康センターバス停（1箇所）上屋等設置		・依佐美中学校バス停（1箇所）上屋等の設置 ・バス停を照らす照明器具設置（6箇所） ・バス停改良工事（2箇所）		・バスロケーションモニター設置（3箇所） ・バス停を照らす照明器具設置（13箇所） ・バス停改良工事（6箇所）	
成果		利用者が快適にバス利用できるよう、依佐美中学校バス停に上屋、ベンチを設置した。また、刈谷市駅バス停、銀座4丁目バス停、一本木バス停を照らす照明器具を設置した。							
課題		公共施設連絡バスの利用者数が多いバス停等にバス停を照らす照明器具及びバスロケーションモニターを順次設置していく。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	バスロケーションシステム利用者数（件）		—	—	—	36,000	39,600		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,767	3,525	13,552	合計	3,525,160 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	40,000 円	
		一般財源	0	1,767	3,525	13,552	工事請負費	3,485,160 円	
	職員人件費 ②		0	1,606	2,071	4,628			
	総事業費（①+②）		0	3,373	5,596	18,180			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名		自転車等駐車場調査事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	計画係	
8	4					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	市内の自転車駐車場の利用状況を調査し、利用状況の推移を取りまとめることにより、自転車駐車場整備計画の基礎資料とする。			主たる内容	○刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		_____		_____		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 26箇所 調査回数 1回/月		・刈谷駅等の周辺駐輪場の利用実態調査 市内駐輪場 27箇所 調査回数 1回/月	
成果		・市内の自転車駐車場の利用状況とその推移を把握することができた。							
課題		・自転車駐車場の整備を計画的に推進していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	950	1,100	合計	950,400 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	950,400 円	
		一般財源	0	0	950	1,100			
	職員人件費 ②		0	0	977	228			
	総事業費（①+②）		0	0	1,927	1,328			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							